テーマ

「共創」プラットフォームを考える ～異文化コラボレーションプロジェクトの経験から～

講演者： 石田 亨 氏

日時： 令和5年7月27日(木) 15:20～17:00

場所： 情報科学講義棟大講義室

講演要旨：

社会課題の解決を志す研究プロジェクトは、往々にして「共創」という壁にぶつかります。異なる分野、異なる文化を背景とする研究は、その成否も定かでないだけに、常に方向性を模索しながら進めざるをえません。膨大な労力を要する半面、論文執筆は容易ではなく、重要であるとは認識しつつも二の足を踏まれる研究者も多いのではないかと思います。本講演では、私たちが経験した10年余に及ぶ異文化コラボレーション研究（言語グリッドやそれをういたベトナム農業支援プロジェクト）を基に、「共創」を可能とするプラットフォームについて議論していきます。

講演者略歴：

1978年京都大学大学院情報工学専攻修士課程修了。同年日本電信電話公社電気通信研究所入所。1993年7月～2019年3月京都大学情報学研究科教授。2019年4月～2022年8月早稲田大学創造理工学部教授。2022年9月～2023年4月香港バプティスト大学客員教授。2022年4月～静岡文化芸術大学理事（非常勤）。この間、ミュンヘン工科大学、パリ第六大学、メリーランド大学、上海交通大学、清華大学などの客員教授、日本学術会議会員を経験。電子情報通信学会、情報処理学会、IEEE各フェロー。2021年度電子情報通信学会会長。教育活動では、京都大学社会情報学専攻、京都大学デザインスクールなど、分野横断型の教育組織の創設を主導。研究活動では、人工知能、特にマルチエージェントシステムの立ち上げに尽力。トップカンファレンスAAMASの第一回大会委員長を務める。その後、デジタルシティ、言語グリッド、異文化コラボレーションなど情報技術と社会をつなぐ研究プロジェクトを推進。人工知能学会業績賞、電子情報通信学会業績賞、文部科学大臣表彰（科学技術分野）など受賞。工学博士。京都大学名誉教授。